

高知県工業技術センターだより

▶試験設備導入のお知らせ（資源環境課）



競輪の補助を受けて導入しました。

当センターは、公益財団法人 JKA による機械振興補助事業を利用し、研究設備の拡充を行っています。今回は、新たに導入した「粒度分布測定装置」をご紹介します。

本装置は、粒子にレーザー光を照射し、回折・散乱光の強度分布パターンを解析することで、粒子径分布を迅速かつ簡便に測定できる、最も一般的な装置です。

従来の湿式測定に加え、新たに乾式測定にも対応しました。これにより、水や溶媒に分散させる際に起こる溶解や膨潤、凝集などの影響を避け、乾燥した粉末の状態そのままでの評価が可能となりました。食品原料、医薬品、造粒粉や顆粒など、従来の装置では測定が難しかった試料も本装置で測定できます。

さらに、動的画像解析機能を備えており、凝集や気泡といった測定時の妨害現象を画面上で視覚的に確認できます。また、粒子の形状（楕円形など）評価も可能です。

本装置は、従来機以上に高精度かつ汎用性の高い測定が可能ですので、研究開発や品質管理にぜひご活用ください。

ご利用や詳細については、工業技術センター資源環境課（088-846-1651）までお問い合わせください。

<粒度分布測定装置の主な仕様>

メーカー：株式会社堀場製作所

型式：LA-960S2

- ・レーザー回折・散乱法式
- ・湿式測定と乾式測定に対応
- ・湿式溶媒：水、有機溶媒
- ・測定粒子径範囲

湿式測定：0.01～3000μm

乾式測定：0.1～5000μm

- ・動的画像解析機能あり

（測定粒子範囲：9～1000μm）



▶試験設備導入のお知らせ（生産技術課）



競輪の補助を受けて導入しました。

当センターは、公益財団法人 JKA による機械振興補助事業を利用し、研究設備の拡充を行っています。今回は、新たに導入した「ポータブル 3D スキャナ」をご紹介します。

この装置は、接触式の三次元測定機では測定が難しい自由曲面や鋳肌の凹凸、柔らかい製品などを非接触で高精度に三次元形状として取得できる光学式 3D スキャナです。取得した三次元データは、製品形状の差異を詳細に把握する形状比較や精度確認に不可欠な寸法評価に加え、既存部品をデジタル化して再設計につなげるリバースエンジニアリングにも極めて有効です。リバースエンジニアリング専用ソフト「Geomagic Design X Pro」と組み合わせることで、スキャンデータから高精度な CAD モデルを効率的に生成でき、複雑形状の再構築や部品再生のプロセスを大幅に短縮します。また、可搬式のため現場への持ち込みが容易で、大型製品や据え置き構造物など従来は測定が困難だった対象にも対応できます。これらの特長により、本装置はリバースエンジニアリング、形状比較、寸法評価などを一体的に支援し、開発・保全業務全体の精度と信頼性の向上に寄与します。

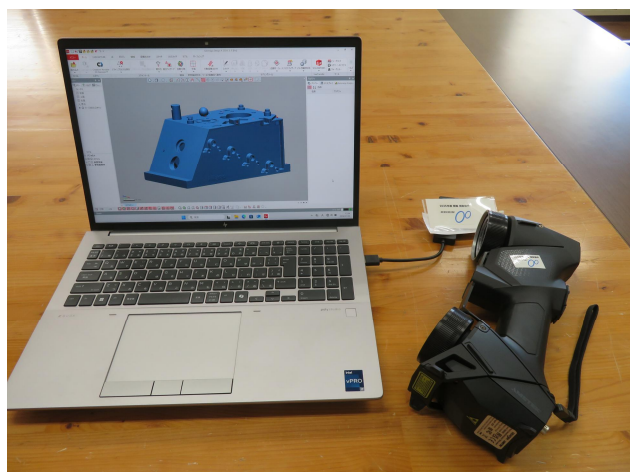
詳細は、工業技術センター生産技術課（088-846-1653）まで、お問い合わせください。

<ポータブル 3D スキャナの主な仕様>

メーカー：アメテック株式会社

型式：Creaform HandySCAN BLACK+Elite LIMITED

- ・精度：0.012 mm
- ・容積精度：0.012 mm+0.015 mm/m
- ・測定能力
 - ピン：0.750 mm
 - 穴：1.250 mm
 - 段差：0.025 mm
 - 壁：0.500 mm
- ・測定対象物サイズ範囲（推奨）：0.05 ~ 4 m



お気軽にお問い合わせください。

088-846-1111

受付時間 平日 8:30 ~ 17:15



高知県工業技術センター
Kochi Prefectural Industrial Technology Center

